

科目名	日常生活活動学実習			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年	通年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
基本的動作やより実践的な技術を習得し、各疾患におけるADLの特徴を理解する								
〔授業全体の内容の概要〕								
講義と実技でおこないます								
〔講師の実務経験〕								
ささやま医療センターにて急性期から回復期までのリハビリテーションを理学療法士として7年間経験								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
日常生活活動学における基礎知識の習得 各疾患におけるADLの特徴を理解する								
回数	講義内容							
1	脳卒中片麻痺とADL							
2	脳卒中片麻痺とADL							
3	脳卒中片麻痺とADL							
4	脳卒中片麻痺とADL							
5	THAとADL							
6	THAとADL							
7	THAとADL							
8	脊髄損傷とADL							
9	脳性麻痺とADL							
10	関節リウマチとADL							
11	切断とADL							
12	内部障害とADL							
13	神経筋疾患とADL							
14	生活指導とADL							
15	生活指導とADL							
16	生活指導とADL							
17	ADLと諸制度							
18	ADLと諸制度							
19	生活環境の評価と介入							
20	生活環境の評価と介入							
21	高齢者における転倒							
22	高齢者における転倒							
23	高齢者における転倒							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第5版			鶴見隆正			医学書院		
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】								
筆記試験にて評価する。								